



予算に全員が賛成

51年度

総額六〇五億六千七百五十四万五千円の世田谷区一般会計予算が成立した。これは、昨年と比べ6.6%の増で、これまで約30%の伸びを示していたのに対し、非常に小振な額となっている。一般会計内訳を昨年比は、一般会計第一(増補正を含む)五〇〇億一、四四九万九千九百四十四円(10.7%増)、計九億九千九百四十四円(10.7%増)。

委員会の審議に先だって、区側は予算編成の概要を次のように説明した。基本方針として、区民生活をまず第一に考え、年間を見通した「本格予算」として、そのための区債(区で借りるお金)や国の補助金などを初めから計上した。施策としては、「福祉優先」を打ち出し、できるだけ現行水準の維持に努めた。一方、不急事業を整理し、事務費の削減をはかった。重点施策には、次の四つの柱を掲げた。

- 緑のまちづくり
- 心のふれあいまちづくり
- 心のふれあいまちづくり
- 豊かなまちづくり

編成方針・重点施策
ヒューマン都市建設に四つの柱

審議のあらまし
大切な事業までを減らしていないか

財政運営をめぐって、事業がふえているのに、職員費と民生費を各委員が鋭く追及した。これに対し区側は、「民生費がふえたのは、生活保護費などの国基準がアップしたためだ。各事業が一律に減っている。それでも財源が見込める範囲で、最大限を盛り込んだ。税収に収入の大半を頼っている当区は、他区よりも伸び率が少なく、非常に苦しい。不十分な経費は、今後補正していきたい」と述べた。

そのほか、都区財政調整の問題点、起債に対する区の考え方、区税制度の抜本改善、手数料など料金改定への取り組み姿勢など、中学校給食委員会(五億六千四百七十四万四千円)の報告があった。

きめ細かい質疑がかわされ、「広報の充実をはかれ」、「職員の育成リーダーを養成せよ」、「防災対策を真剣に考え直せ」、「区政の基本計画の作成を」などが要望された。理事者は、「いずれも区政にとって重要な問題だ。今後、効率的な組織の改正を行なって、これらに十分対応できるようにしたい」と答弁。

個別の事業内容では、各々が昨年より減らした事業について、担当部の考えを問いただした。特に、保育園不足、道路・下水道、緑化と区民の健康、教職員の研修強化には、集中して議論が行われた。

具体的に質疑されたおもな事項は次のとおりである。

- 区民福祉 高齢者事業団の設置、区民施設の方法、各種団体への助成、栄養指導の強化、出張所の区民フロアの運営など。
- 土木・環境 暗渠化しない河川の管理、私道舗装の充実、道路新設・改良の強化、建築主事の権限範囲、井戸の実地調査など。
- 教育 学校事故対策、区民へ開放するための中学校体育館改築計画、給食をめぐる今後の課題、主任制度に対する区の考え方、先生の研修・指導の強化充実など。

区税



51年度一般会計予算



1000円の使いみちは...



(注) 国庫支出金、都支出金その他の使いみちの決まっている財源を除いて、事業費に人件費を加えたものです。

区長の「社会福祉を基調とする区政推進」の基本姿勢を大筋支持する。都との交渉に力を入れてきたが、これからは独立した気概で、国に対し超過負担の解消などを運動せよ。各種助成金や付属機関の事業の洗い直しを一層進めていけ。保育園増設に最大限留意せよ。老人アパート借上げや障害児教育にも十分留意を注げ。財政危機を甘く考えず、世田谷区政は何を旨とするかを真剣に考え、全庁的な議論を行え。出張所の区民フロアへの転換も職員と協議して始めよ。

一般会計予算に対する各派意見のあらまし

自民党
計画に基づく予算の策定を

総合行政を推進することを強く要請する。政策をじっくり練り、それを優先させる予算こそ最も必要だ。そのためには、将来に向けての長期計画を早く策定することを特に要請したい。区税を効果的に区民に還元するには、まだまだ不十分な面が多い。区独自の社会福祉だけを優先させることは、人件費の必然的な伸びとともに、将来財政の硬直化を招くので、十分留意されたい。料金改定は応能主義で、十分留意されたい。納得できる改定を行え。また、起債の活用をはかるべきだ。道路・下水道の建設等、社会資本の充実をはかり、地域に合った町づくりをせよ。

公明党
区政の主人公は区民という認識で

現在の福祉水準を維持させたことは高く評価する。とはいえ、社会的弱者の救済だけでは真のヒューマン都市とはいえない。区民が、区政の主人公だという基本を十分認識して予算を執行せよ。各事業については、次の指摘した点を具体化させよ。

- 商工相談の拡充と中小企業センター設置
- 老人大学設置のためのプロジェクトづくり
- 心身障害者の緊急保護制度
- 環境保全審議会を設置
- 幼稚園保育料改定分で区立幼稚園を増設
- 私道舗装の助成拡大

民社党
区民が迷惑しない窓口行政に改善せよ

低成長下の中で、多様な区民要望にどう応えるかが大切だ。社会福祉の充実など、区長の掲げる基本姿勢に賛同する。税・財政制度の改革の必要性を痛感する。これを区民に率直に訴え、理解してもらおうことが肝要だ。新しい角度から資料の分析を行い、一日も早く区政計画に着手されたい。区民に迷惑がからない窓口の改善を強く要請する。現場で働いている職員との対話も大切だ。研修を強化し、スムーズに事業が行えるよう要望する。

無所属A
生命を原点に政策を進めよ

多くの区民の生命を守ることを原点に、予算を執行されたい。それには、健康な人への施策も大切だ。再開発事業を行うチャンスではなかったか。栄養指導の強化、緑化の推進、幼児・青少年・婦人対策に積極的に取り組め。ユニークな施策を期待する。

無所属B
新しい収入方法を考えられなかったか

編成に苦心されたことに敬意を表すが、新しい収入源を求めるなど、独自の方策を考えられなかったか。身障者の区別をつけたり、幼稚園園長の兼任制度は改めるべきだ。教育内容の充実、PTAの本来のあり方、教師の健康管理などを再吟味せよ。

代表質問

地方自治をどう「哲学」するか

—自民党—

質問 現代は、「心中型社会」といわれている。これは、地方自治の未熟を示す厳しいことばだ。失速した日本経済の中で、地方自治の果たす役割は非常に重要だ。

そこで、地方自治を哲学する「—即ち、真理を極めること—」が必要だ。トラブルを単に応急手当てするだけでは解決しない。たとえば、日照問題が、今や都市政策の大きな問題となっている。これは、地方自治のどんな事務に分類されるのか。

区長・建設部長 地方自治の本質は住民自治だと考えている。日本は、短い年月の中で急速に発展してきた。だが、地方自治の基盤は、住民自身が築きつつある。そういう中で、法に触れることはできないが、住民の声に対してあらゆる努力をするのが自治体の責務だ。その一つである「日照問題」は、科学的な根拠が明らかになっていない。現在は、固有事務として、要綱を定めて実施しているが、条例を制定し、行政事務とされることも十分考えられる。

質問 住民参加方式は、自治に対する認識が未成熟のために、トラブルを生ずる場合がある。また、参加できない住民が、多数排除される結果にもなる。さらに、議会を軽視するという欠点にもなるのではないかと。区長 住民参加は、新しい方式であり、住民、議会、執行機関の位置づけが必要だ。不参加の住民に対する方策も考えるべきである。住民参加を、行政にどう反映させるかが問題で、住民の代表機関である議会は、当然、重要視している。

学校施設を地域住民に開放せよ

—公明党—

質問 施設不足をカバーする意味からも、区民が自由に学校施設を利用できるように開放すべきだ。また、相談・指導・話し合いができる「中小企業センター」を設置せよ。

区長・区民部長 現在、学校開放の準備を進めている。効果的に利用できるように、地域の人たちとも相談し、多少時間を要しても実施したい。国の融資機関も組み入れた「中小企業センター」は、効果も大きいので、実現に努力したい。

質問 未来の人間社会を科学的に進めていく。ヒューマン都市構想を高く評価する。人間性の復活と生命の尊厳を真剣に問い、住民福祉をうたいあげているからだ。

そこで、学識経験者らによる「ヒューマン都市推進本部」を発足させたらどうか。

区長 地域の人々と区が一体となり、地域ぐるみの福祉を確立する。さらに、区民の連帯意識を支えられ、ボランティアの活動によって事業を推進していくのが、ヒューマン都市構想だ。その方向を進めていく。

質問 老人大学を開設する前に、リーダーを養成せよ。高齢者事業団も必ず発足させよ。身障者のために、ガソリン税免除、運転免許の補助、練習用自動車の配備、無料健康診断、各種団体への助成をはかれ。

区長・衛生部長 事業団設置は検討している。リーダー養成も考える。身障者対策として区内の教習所へ入入れをした。また、健康診断の無料化は検討していく。

福祉財源を獲得する基本姿勢を示せ

—共産党—

質問 民主的自治体の正しいあり方は、住民の民主主義闘争を背景に、福祉施策と取り組むことだ。区民の要求を実現させるために、その財源をどう獲得するのか。区の基本姿勢を示せ。都の「大都市財源の構想」による「高速道路適正利用税」が、当区で実施できるのではないかと。

区長 現行の地方税・財政制度の抜本的改革が絶対必要だ。これからは、区民にこれを周知し、区民と共に「区の財政確立」の運動を強力に進めていく。区民サービスを維持するために、区債も必要であり、健全財政を配慮しつつ、実施していく。高速道路利用税は、当区だけではなく、都全体として実施すべきものだと考えている。

福祉に積極的な予算の編成を

—社会党—

質問 財政危機の今こそ、区長がリーダーシップをとって「区民福祉」に取り組みとせよ。改めて区長の福祉に対する考えを明らかにせよ。新年度予算は、トップの政策が十分に反映していない感じがする。もっと積極的な姿勢で編成すべきではないのか。

区長 財政難でも福祉を後退させず、充実していきたい。財源不足で十分な予算とはいえないが、現状では最大限の編成をした。質問 都区間の財政調整率を50%にアップせよ。地方財政の構造改善を強く国に訴え、区民との集金も開け。また、職員の給与差額分を今年度中に清算させよ。

区長 区長会で、ねばり強く要請する。市なみの交付税方式も研究する。区民集金は

区政改革への道を拓け

—民社党—

質問 低福祉・高負担という困の施策は、数字の上でもはつきり表われている。加えて「減税なし」という政策は、国民の福祉を全く考えていないといえる。税の負担がふえ、さらに区に各種使用料などがアップすれば、勤労世帯はますます苦しくなる。この現状を、区のトップは十分認識しているのか。また、区の行政や財政の分析を行っているのか。どういう区政改革が必要と考えているのか。これについての討議を実施したのか。

区長 昨年の財政危機で、財政危機対策本部を設置、具体的な事業の洗い直しを行なった。その中で提案された「企画部門の強化」を今回具体化する。これが区の頭脳となつて、今後、行財政分析や区政計画立案の機能を果たすことになる。

助役 事務移管に伴って、プロジェクトチームをつくり、区の組織等の改革を検討した。だが、二三区均衡など大きな問題がある。職員の研修を強化し、それにより職員が各事業を見直すことが必要だ。個々の問題については、そのつど研究会や職場懇談会を開いて研究をしている。

質問 今後の財政の見直しをどう考えているか。

企画部長 予算の編成にあたっては、政府の予算資料を参考にした。今後も成長とということを前提に取り組みしていきたい。

なお、「児玉善士夫氏に対する区民税を追加徴収せよ」との公明・共産・社会各党の質問に対し、区長は、「プロジェクトチームをつくり強行に徴収し、差押えも行う」と答弁した。



ズンだ。当区では、大人だけでなく少年野球も盛んなので、もつとグラウンドがほしい写真＝二子玉川緑地で。

料金改定議案など四十八件を全会一致で可決

第一回定例会の概要

第一回定例会は、3月8日から29日まで、二十二日間わたり開催された。

「予算議会」といわれるこの定例会は、例年例会が一番長い。上程される議案も多く、予算などの重要案件があるためである。審議された議案は、すべて区長から提出されたもので、次のような日程を経て、いずれも全会一致で原案どおり可決された。

3月8日 本会議（区長招集挨拶、各党代表質問、議案の上程・委員会付託）

3月9日 本会議（一般質問Ⅱ自民四人・公明二人・共産二人・社会三人・民社二人・無所属二人、請願・陳情の委員会付託）

3月10日 常任委員会の議案審議

3月15日 本会議（新年度予算・人事案件を除く議案の委員会報告・採決）

3月16日 26日 予算特別委員会の審議、三つの特別委員会の審議（19日のみ）

3月29日 本会議（予算委員会報告・各党の意見表明・採決、人事案件・請願の議決）

●51年度各会計予算 四件

- 一般会計当初
- 一般会計第一次補正 関係記事は一ページ
- 国保事業会計当初
- 国保事業会計当初
- 中学校給食費会計当初
- 50年度各会計補正予算 三件
- 一般会計第三次
- 国保事業会計第二次 関係記事は三ページ
- 中学校給食費会計第一次

●条例の新設

- 心身障害者福祉施設建設基金の設置・管理条例
- 条例の改正 二十四件
- 料金等の改定に伴い改正するもの
- 事務手数料条例、区民会館条例、保養所条例
- 要望書の提出（内容は三ページ）

例、商工センター条例、国保条例、厚生会館条例、老人休養ホーム条例、心身障害者休養ホーム条例、保健所使用条例、道路占用料徴収条例、公共溝渠管理条例、幼稚園保育料条例、総合運動場条例、千歳温泉水条例、青年の家条例

- 料金改定・新設に伴い改正するもの
- 新設・廃止に伴い改正するもの
- 児童遊園条例、保育園条例
- その他の理由で改正するもの
- 庁舎周辺道路整備基金条例、組織条例、職員定数条例、職員給与条例、職員勤務時間等条例、職員退職手当条例
- 工事請負契約 三件
- 中町水防倉庫・職員独立新築工事
- 代田保育園新築工事
- 頼田小学校舎増築工事
- 財産の取得・受入れ 二件
- 希望丘中建設用地の取得
- 玉川保健所の土地・建物の受入れ
- 教育委員の任命同意
- 専決処分報告 二件
- 職員旅費条例改正
- 児童の傷害事故損害賠償額の決定
- 区道路線の認定 八件
- 新町三丁目、中町二丁目（二件）
- 宇奈根二丁目、南島山五丁目
- 千歳台三丁目（二件）、北島山二丁目

総延長 805.9m

ふえた施設・減った施設

児童遊園	公園	保育園
若竹 榎蔵橋 上野毛自然 多摩川遊園 九品仏川児童遊園 南島山四丁目 碓七丁目 (廃止)玉川	北沢五丁目18-4 用賀二丁目18-3 中町二丁目14-9 上野毛二丁目17-19 玉堤二丁目1-1先 奥沢七丁目1-5先 南島山四丁目21-2 碓七丁目14-16 中町二丁目29-1	経堂保育園 経堂四丁目13-10 北沢五丁目18-4 用賀二丁目18-3 中町二丁目14-9 上野毛二丁目17-19 玉堤二丁目1-1先 奥沢七丁目1-5先 南島山四丁目21-2 碓七丁目14-16 中町二丁目29-1

注) 玉川児童遊園は、近くに榎蔵橋公園ができ、玉川小の校庭を広げるため廃止するもの。

料金(円)	新料金(円)
600~7,000	2,400~10,500
400~2,200	600~3,300
人につき) 700	(4人室)(5人室) 4,500・6,000
人につき) 500	(4人室)(5人室) 3,500・4,500
500・3,500	4,500・4,000
6,000	15,000
1,350	3,300
400	600
100・200	無料
60	100
450	700~840
1,000	2,000~2,400
100	200
4,500	18,000
80	無料
600	2,500
40	150
100	200・300
80,000	120,000

一般質問

窓口サービスの充実をはかれ

質問 窓口を昼休みも開き、区民が一度で用事が足せる体制を考えると、手づくりの区民サービスを考えよ(無所属B)。

区長 窓口のあり方について、内部で話し合いを進めている。サービスに徹する気遣いで、窓口の応接が悪い。もっと親切なやりのある職員を配置せよ(社会)。

区長・区民部長 十分注意する。窓口としての自覚が不十分な面もあるようだ。

質問 団地内に公共施設用地を広くとれ。大企業の遊休地などを活用し、地域住民の要求に応えるようにせよ(共産)。

企画部長 新設団地については十分配慮する。民間の施設の区民利用ができれば、ぜひ地元のために活用させたい。

質問 財源確保の工夫を行え。民間委託による効率化、思いきった職員配置・機構改革を進めるべきだ(自民)。

区長・企画部長 単純労働など効率の上がる事業は委託に切り換えていく。無駄を省き、職員にやりがいを持たせる方策を考え、今の時代に合った組織づくりを行う。

質問 火災から区民の生活を守るため、保険より掛金が少なくて済む火災共済制度を区で行えないか(民社)。

助役 交通災害共済制度の例もあり、二十三区で実現できるか検討してみる。

烏山保健相談所を改築せよ

質問 烏山保健相談所の建物に欠陥がある。安心して利用できるよう改築せよ(公明)。

衛生部長 全面改築したいが、すぐできない。保健所の整備計画に沿って改築したい。

質問 乳幼児の検診体制を強化し、障害児の早期発見を心がけよ(社会)。

衛生部長 六カ月・九カ月・三歳児の検診を実施している。特に三歳児は、精神面までチェックを行なっている。

質問 人命に最も大切な血液確保事業に取り組み。そのため、学者・医師を含めた組織をつくり、血液予約制度を考えよ(自民)。

区長・助役 輸送や検査など難しい点がある。医師会などの協力を得て、プロジェクトチームをつくらせて検討したい。

質問 家族の病氣や葬祭など緊急時に、心身障害者を一時預かる制度をつくれ(公明)。

福祉部長 51年度は、介護人の派遣時間を六時間から十二時間に延長する。預かってくれる人・施設が必要だ。

質問 国基準による保育園保育料の大幅値上げはやめよ。区独自の審議会をつくり、住民参加で適正な結論を出せ(共産)。

区長 二十三区同一の歩調をとるが、住民の意見は十分聞いてから検討する。

質問 福祉手当などを受ける資格がありながら、受けていない人がいる。関係部署の連絡を密にして万全を期せ(社会)。

厚生部長 広報紙、民生委員を通じてPRに努める。51年度からは、児童手当事務を電算で行い、落ちこぼれを防ぐ。またこれからの事務の窓口一本化も検討する。

大雨で溢水する地域の抜本策を

質問 上野毛三丁目付近は、大雨の際、たびたび溢水している。現場を調査し、一日も早く抜本策を講じよ(自民)。

土木部長 下水道の雨水幹線の建設を早めることだ。都は、溢水地域に対し、重点的に工事を行う方針だが、区も強く要請する。

質問 香川、九品仏幹線周辺の下水道事業が遅れている。香川の改修に要する予算を、都と共に国へ強く要求せよ(社会)。

土木部長 都は、現在、香川の改修を進めている。パイプ工事もすでに検討中だ。

質問 烏山北小の裏と千歳小の近くの通学路はデコボコだ。児童が安心して通学できるように改善せよ(公明)。

土木部長 地元での話し合いがつけば、早急に舗装する。通学路の安全対策には、十分気をつけている。

質問 谷沢川の中町一帯を暗渠にして、サイクリングや憩いの場として活用させよ。



元氣いっぱいの一学年生。この日は教育問題がテーマに数多く議論された。写真：松丘小学校。

区立幼稚園が率先して障害児を受入れよ

質問 軽い障害児の教育は、普通児と一緒に行なった方が効果的だ。区立の幼稚園が率先して受け入れるようにすべきだ。介添員をふやすなどの体制づくりを考えよ(共産・社会)。

助役・教育長 専門家の意見を聞いて、慎重に検討したい。介添員制度を確立することが必要なので、現在のアルバイトを非常勤の職員に待遇を改める。

質問 幼稚園の保育料は、保育園と比べて基準があいまいだ。適正な料金に是正すべきではないのか(自民)。

教育長 法律で、施設の使用料として扱うことになっている。公私格差も大きいので、今回、料金の改定を実施する。

質問 学童の視力が、非常に低下しているのでもビックリした。区は、視力調査の結果を知っているのか(社会)。

教育長 今の一年生の17・19%が、視力1.0以下だ。テレビの見過ぎや運動不足などが原因と思う。家庭での指導も大切だ。学校でも調査を活用して指導していく。

質問 子供を正しく観察できる「教育相談室」を設けよ(無所属A)。

区民センターに教育相談室を併設できないか(共産)。

文化世田谷のために文化会館をつくれ

質問 文化会館の建設が遅れているのは遺憾だ。芸術の森や気楽にスケッチできるような公園を考案するなど、区の文化・芸術活動の構想を示せ(無所属A)。

区長 民間人の協力を得て、これらの人を雇ったプロジェクトチームをつくりたい。文化会館も十分その機能を果たせるものを検討している。

質問 松原に建設を予定している文化会館の構想があれば示せ(自民)。

教育長 いろいろの要望があり、検討中だ。用地が狭く、当初予定した教育会館は無理なので、総合文化会館を建設したい。

質問 小中学校の校庭を整備して、少年野球などに開放せよ。また、校庭の砂ぼんで付近の人が迷惑をしている。その対策を講じているか(自民)。

教育長 現在、年七、八十回くらい開放しているが、さらにこれをふやしていきたい。校庭の整備は、年次計画で進めている。

質問 奥沢、尾山台小の特殊学級施設は、ガラスが割れやすく危険だ。そのほか改善すべきものが多いが、その対策は(共産)。

教育長 ガラスは厚手のものに取替える。映写機も取りつけ、小型倉庫・汚物の洗い場の設置など、基準外でも検討する。

50年度補正予算の審議から区民サービス分まで減らしていないか

別表の料金改定議案のほかに、50年度の各会計補正予算が上程され、全員賛成で可決された。

今回の補正は、財政危機により、当区が他区に先がけて、財政危機突破緊急対策本部」を設け、検討を行なった各種経費の削減と事務事業の一部縮小・整理が主な内容となっている。また、徴収を穴埋めするためのなどの起債(借金)が約五十九億円も追加され、一般会計だけは、四十九億円円の増となった。

この議案を審議した委員会では、区民サービス分まで減らしていないか、もっと国の負担・補助を多くする方策などを中心に質疑がかわされた。これに対して区側は、福祉関係の予算までは減らしていない。ただ見込んだ数を下回ったため、減額したものは若干あるが、学校関係も節約したが、児童の教材などはきちんと執行した」と答弁。

そのほか、開発指導要綱を早くつくることや寄附金のあり方、ふえてきた借金の返還にも十分配慮せよなどの意見・要望が出された。

なお、今回の補正により、各会計の予算額は次のようになった。

一般会計 一五三億三、七四七万九千九百円
 国保事業会計 九〇億六、一八八万四千円
 中学校給食費会計 五億一、九六万四千円

意見書 要望書

公害健康被害補償法の地域指定に関する要望書

有害酸化物などの汚染度が高い当区は、健康被害者が現に多数に上っている。にもかかわらず、今回再び地域指定からはずされたことは非常に遺憾だ。区内には、東名・中央高速、環七環八など数多くの主要道路が縦横断し、これに伴う自動車公害が、区民の生活環境を著しく侵している。速やかに資料を再検討し、追加指定するよう強く要請する。

12月17日提出 3月8日議会報告

環境庁長官あて

都立高校増設等に関する要望書

最近、高校への進学者がふえ、数年後には深刻な高校不足が心配される。都は次の事項を実施するよう要望する。①区内に都立高校を増設すること②私立高校への助成金を増額し、入学金等の納入を都立高校発表後とすること③区内都立高

校の施設改善と内容の充実をはかること。

12月17日提出 3月8日議会報告

都知事あて

身体障害者等の交通機関利用に関する要望書

駅舎や電車内の構造が、身体障害者・老人などへの配慮がほとんどなされていない。福祉が叫ばれている今日、これらの人々が利用しやすくすることを要望する。

2月10日提出 3月8日議会報告

運輸大臣あて

法務省三宿家敷地の樹林保護についての要望書

当区は、地域住民の協力により樹木・樹林の保存に努力している。世田谷区三宿にある法務省総合研究所宿舎敷地に密生する樹林は、地域住民はもとより、当区にとつて貴重な自然環境となっている。これを可能な限り保存するよう強く要望する。

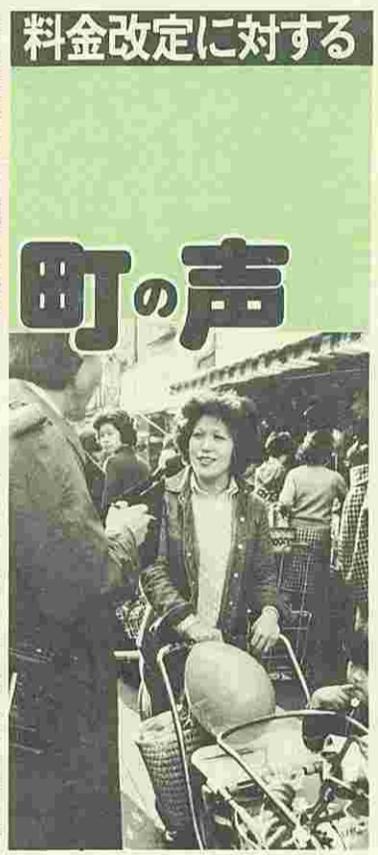
3月25日提出 3月29日議会報告

法務大臣あて

●使用料		
施設	内容	旧料金(円)
世田谷区民会館	集会室	1,600~7,000
玉川・砧	集会室	400~2,200
箱根足柄荘	和室(A・B)	(1人につき) 700
来宮荘	和室(A・B)	(1人につき) 500
北川荘	和室・洋室	2,500・3,500
商工センター	集会室	6,000
厚生会館	結婚式場	1,350
ふじみ荘	宿泊(老人)	400
ひまわり荘	宿泊(付添者)	100・200
総合運動場	プール(大人のみ)	60
	子ども供はすおき	450
公園施設	庭球場	450
	野球場	1,000
千歳温水	プール(大人のみ)	100
	プール(団体)	4,500
青年の家	宿泊	80
幼稚園	保育料	600
●手数料など		
住民票・諸証明(除印鑑証明)		40
保健所の証明・診断書		100
国保の保険料最高限度額		80,000

みなさんからの 請願と陳情

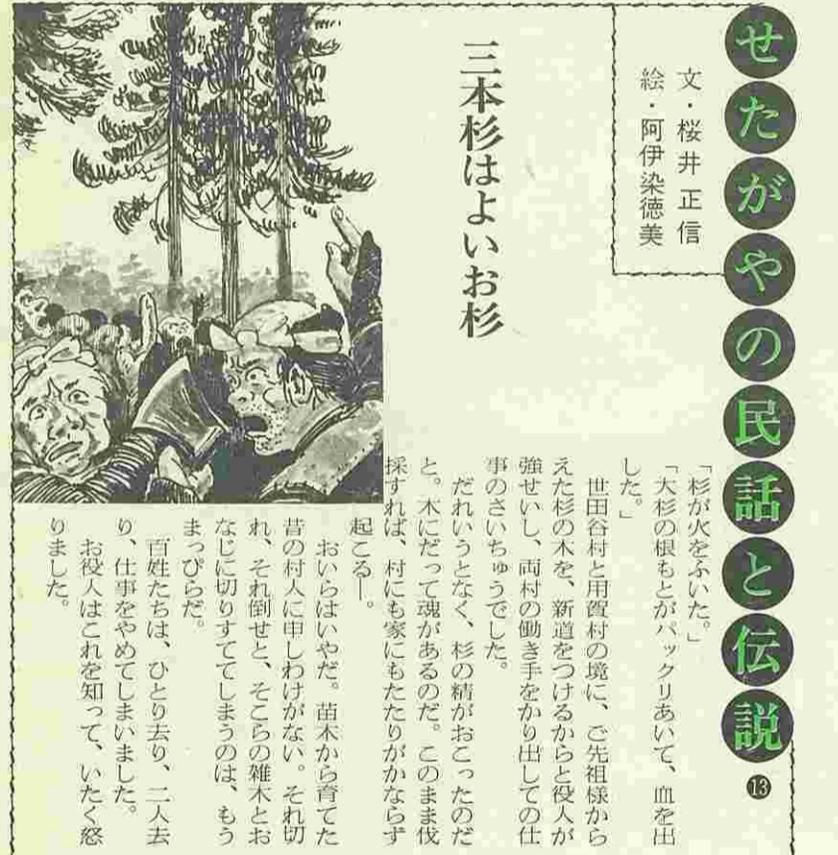
○審議が終わったもの
採択 二十四件
○審議が終わったもの
採択 二十四件
保育園新設に関する請願(北馬山地域)
学童保育新設に関する請願(菅原・松丘小学校区)
精神薄弱者(児)の福祉作業所(実習ホーム)設置に関する請願
車庫通行反対の請願(馬山団地中央道路)
騒音振動取締りに関する請願(下馬五丁目23番山田建設資材置場)
騒音振動取締りに関する請願(下馬五丁目23番浅野建設資材置場)
小学校新設に関する請願(芦花小地区周辺)
区立松沢小学校運動場用地買収に関する請願
区立中学校生徒の進学困難改善に関する請願(願)願意に沿い、都知事あてに要望書を出す。
私立幼稚園児保護者への保育料補助金増額に関する請願(財政の許す範囲で、すみやかに願意に沿うよう努力されたい)
結核入院患者に対する文化助成金支給に関する請願(現状では公費で助成することは難点があるが、趣旨に沿うよう努力されたい)
京王線千歳山駅改善に関する請願(地下道建設および駅の改造にあたっては、身体障害者・老人等も利用しやすいものになるよう、また南改札口の存続および補助スロープの設置場所については、他の地元団体の意見も勘案のうえ願意に沿うよう努力されたい)
失対事業就労者越年手当等支給に関する請願(失対事業就労者年未手当等支給に関する請願)以上2件、十分実態を把握し、区で処理できるものについては、二三区協議の上なるべく妥当な方法を講ぜられたい。
木造校舎改築についての請願(富士中)→将来体育館改築計画にあわせ、木造校舎の鉄筋化をはかるよう努力されたい。
「世田谷吹奏楽団」練習場確保等に関する請願(社会教育団体の文化活動については積極的に推進し、請願の趣旨に沿うよう努力されたい)
区立図書館運営についての陳情・住民の学習と読書の権利を保障するための請願(以上2件、図書館行政の充実をはかり、願意に沿うよう努力されたい)
※ミニ児童館つき学童保育クラブ設置に関する請願(東玉川地域)
※重量車深夜通行規制および道路改修等に関する請願(都道雪ヶ谷沢渡線、奥沢車玉川地域)
※樹林保存に関する請願(三宿三丁目27番28号法務省三宿寮敷地)
※区道掘削と下水整備に関する陳情(喜多見七丁目24番下橋、29番雁道橋)
※側溝改善整備に関する請願(瀬田五丁目35番6、7号)
※教育条件整備に関する請願
※区立中学校整備充実に関する請願
以上7件、願意に沿うよう努力されたい。
■取下承認 十件
公衆浴場運営に関する請願
本多ビル建設反対に関する請願(北沢二丁目10番18号)
ホーム延伸と防線設置計画反対に関する請願(田



町の声
料金改定に対する
◇下ノ谷商店街・下馬都管住宅で
主婦A 区政には関心がありませんわ。でも何か上の方で決められて、区独自の仕事ができないようにですね。値上げはやむを得ないと思えます。ただ、区の職員は民間と比べて、恵まれていて人も多いようですね。
主婦B 議会が開かれてはいるのは知っていますが、忙しくて。値上げは仕方ないですね。例えば、幼稚園なんか私立との差があります。例えは、幼稚園なんか私立との差があります。例えは、幼稚園なんか私立との差があります。
◇世田谷公園で
野球場の会社員A もっと安いところもあるけど、多少の値上げは。
野球場の会社員B 値上げはしょうがないけど、もっと多く利用できるようなしてほしいな。
◇老人休養ホーム「ふじみ荘」で
おばあさんA 議会のことはよくわかりませんが、料金や安い方がいいけれど、しょうがないね。子供から小遣いもらってるとは困ります。
おじいさんB 物価も上がっていることだし、値上げはしょうがないよ。ロッキードなんか、もっとピシシとやってもいいじゃないか。それと、老人バスがなくなるっていうけど、それはちゃんと統括してほしいよ。おばあさんC 安いし、少しぐらい仕方ないね。下水道を早くつくってよ。
おじいさんD 「区議会だより」がくるのは知ってるよ。多少の値上げはしょうがないかな。経済的に恵まれない老人に、職を紹介してくれないかね。
◇城山・羽根木・松丘幼稚園で
園児の父A 値上げのことは知ってたよ。財政危機を考えると多少はね。議会で、もっと住民の意見を聞く方法(公聴会なんか)とどんでん返してほしいですね。
園児の母B 私立と比べて、今までの安すぎたわね。一年保育でもいから、全員入園できるようにしてください。
園児の父C 値上げはやむを得ないけれど、国は、もっと幼稚園に援助すべきだよ。財政危機なんだから、区でも、もうかる事業を考えなさいよ。
園児の母D 私立も使値上げすることにせよ。絶対反対です。保育園はかり力を入れて、幼稚園がおろそかになっているみたいよ。
園児の母E 安すぎた感じね。住民票の大量閲覧なんかは、高い料金を取るのよ。
園児の母F しょうがないワ。区立しか入れない人もあるから、方向としては、たくさんつくって、無料にしてほしいワ。

せたがやの民話と伝説
文・桜井正信
絵・阿伊染徳美
「杉が火をふいた。」
「大杉の根もとがバクッリあいて、血を出した。」
世田谷村と用賀村の境に、ご先祖様からえた杉の木を、新道をつけるからと役人が強せし、両村の働き手をかり出したの仕事をのさいちゅうでした。
だれいとうなく、杉の精がおこったのだと。木にだって魂があるのだ。このまま伐採すれば、村にも家にもたたりがかならず起こる。
おいらはいやだ。苗木から育てた昔の村人に申しわけがない。それ切れ、それ倒せと、そこの雑木とおなじに切りすてしまおうのは、もうまっぴらだ。
百姓たちは、ひとり去り、二人去り、仕事をやめてしまいました。
お役人はこれを知って、いたく怒りました。

三本杉はよいお杉
「杉が火をふいた。」
「大杉の根もとがバクッリあいて、血を出した。」
世田谷村と用賀村の境に、ご先祖様からえた杉の木を、新道をつけるからと役人が強せし、両村の働き手をかり出したの仕事をのさいちゅうでした。
だれいとうなく、杉の精がおこったのだと。木にだって魂があるのだ。このまま伐採すれば、村にも家にもたたりがかならず起こる。
おいらはいやだ。苗木から育てた昔の村人に申しわけがない。それ切れ、それ倒せと、そこの雑木とおなじに切りすてしまおうのは、もうまっぴらだ。
百姓たちは、ひとり去り、二人去り、仕事をやめてしまいました。
お役人はこれを知って、いたく怒りました。



編集後記
議員の住所・電話番号変更
高橋 忍(社会) 中野五丁目9-11-109
笹尾 淑(共産) 南馬山二丁目8-1-1012
下条忠雄(社会) 千歳台二丁目14-15
中塚 護(公明) 玉川四丁目18-3-709-190九
○大場区長初の予算案「昨年と比べ、税収が大きくダウン」そのため、区の事業を減らさざるを得なかったことが、一ページのグラフでよくわかります。
○あわや本紙も減員か?いろいろ心配しましたが、今までどおり発行できそうです。
○少しでも親しみやすく、わかりやすく、詳しくをモットーに、思いきって編集を変えてみました。各党代表の編集委員さんに集まっていた相談の結果です。
○四ページは、区民のみなさんのスペースです。今回は、町の中にとび込んで生の声を収録してみました。従来の論議も折り込んで変化のある編集心がけていきます。
○みなさんの声をお待ちしています。請願・傍聴などのお問合せは、区議会事務局(412)一一一一、内線590へどうぞ。